

2018～2019 部長方針・活動計画

中部部長 柴田洋治郎（名古屋東海）

1. 部長主題

ワイズ総活躍中部

2. 活動方針

ワイズメンズクラブの定款の目的の項の冒頭には、'奉仕活動を通じてYMCAを支援する' とある様に、ワイズは第一義的にYMCAのサービスクラブであると思われます。地域YMCAは各種のプログラムを企画し、常時ワイズの人的、資金的支援を求めています。

勿論、ワイズ独自の事業に注力することも大切ですが、この事業の多くはYMCAを支援することと重なっています。従って、YMCAへの支援活動イコール、ワイズメンズ活動の活性化、発展に繋がると考えられます。

3. 活動計画

①YMCAサービス・ユース事業

- ・YMCAのプログラムには各クラブとも人的、資金的援助をおしみなく行う。まずは、実行委員会に各クラブ最低1名は参加すること。

②地域奉仕・環境事業

- ・Yサユース事業に取り組むことで、地域社会奉仕に連動することが多い。
- ・各クラブ独自の地域奉仕活動があれば、引き続き継続し、新たな企画にも取り組む。

③EMC事業

- ・新規会員獲得には、対象を時間的、経済的余裕のある中高年層を重点ターゲットとする。・中部におけるEMC事業は極めて困難であることは、過去のデータからも明らかである。従って回復するまでは、元気な現有勢力の範囲内で維持することも必要と思われる。ただし、新陳代謝が無い分、クラブの方針、行動が固定化する恐れがあり、注意せねばならない。

④国際・交流事業

ファンド事業

- ・任意団体であるワイズにとって、エンダウメント=外部からの寄付による基金の組成及びその運用には限界があり、会費収入をベースとした財務内容の充実が中心となると思われる。
- ・この点YMCAは公益財団として、寄付等の外部資金の受入れに成果を上げてきており、むしろ、ワイズの人脈等によりYMCAを側面支援することで、これを代替してはどうか。
- ・最近、CSRは企業中心に頼りに浸透してきており、やり方次第で期待が持てる分野である。

交流事業

- ・単なる親睦に終わらせることなくワイズ発展のための議論の場であって良いと思う。

⑤メネット事業

- ・近年 '女性活躍' が盛んに叫ばれる世の中であり、まずは男性ワイズの意識改革を行うことが第一と思う。

⑥広報事業

- ・YMCAプログラムと協働してワイズのPRをすれば、実効性が高いと思う。

4. 部行事予定

2018年5月 第1回中部評議会
2018年9月 第22回中部部会
2018年11月 第2回中部評議会

5. その他の計画・特記事項

6. 部役員

0. 部役員		
部長	柴田洋治郎	名古屋東海
次期部長	深尾俊雄	名古屋南山
直前部長	山内ミハル	金沢
書記	八木武志	名古屋東海
会計	浅野猛雄	名古屋東海
事務局長	橋爪良和	名古屋東海
連絡主事	浅野麻琴	名古屋東海
監事	川口 恵	名古屋
代議員	2018-19	山内ミハル
	2018-20	柴田洋治郎
		名古屋東海

7. 事業主査

事業主査	Yサ・ユース	鈴木一弘	名古屋東海
	地域奉仕・環境	下村明子	名古屋グランパス
	EMC	塚本浩巳	四日市
	国際・交流	谷川修	名古屋
	メネット	深尾俊雄	名古屋南山

8. 会長

クラブ名	会長名
金沢	幸生一誠
名古屋	深谷聡
名古屋東海	池野輝昭
名古屋南山	近藤豊
四日市	浅野年嗣
名古屋グランパス	荒川恭次
津	千賀直道
金沢犀川	北肇夫